



今月の粹 !!

まちよ盛り上がり 「あばれ獅子」



①あばれ獅子の勇壮な舞 ②あばれ獅子の行列（メガホンで先導する洞口さんと、笛を吹く会長の酒井さん）

みなさんは、7月の樽前神社例大祭に合わせて行われる「あばれ獅子」を知っていますか。縁起物として赤い頭を威勢よく振る獅子舞を中心に、先導や楽器を奏でる人を含めて20名以上でまちを練り歩く伝統芸能です。獅子には、頭・胴・尾に1人ずつ入り、3人が呼吸を合わせて披露する

このあばれ獅子の起源は大正時代と古く、一時途切れた時期もありましたが、有志たちによってよみがえりました。その時のメンバーで、二区町内会あばれ獅子保存会の会長、酒井さんは「この町内会に伝わるあばれ獅子を、風化させたくないという思いから復活させました。これからは、次の世代が伝統を受け継ぎ、あばれ獅子で祭りを大いに活気づけ、まちを元気にしてほしいですね」と伝統芸能を通してまちに活力を与えたいとい



二区町内会あばれ獅子保存会

連絡先
洞口 大さん ☎36-3990

迫力ある動きに、誰もが目を奪われます。

う思いを語ってくれました。小さい頃から、あばれ獅子を身近で見えていて、憧れがあったという先導役の洞口さん。先輩たちの思いを受け継ぎながら「より多くの人に興味を持ってもらえるような活動をして、一緒にまちを盛り上げてくれる仲間を増やしていきたいです」と話してくれました。

祭り当日、錦町・大町を中心に練り歩く行列には、大きな声であばれ獅子を誘導する洞口さんの姿がありました。あばれ獅子は、まちかどやお店で威勢の良い舞を披露し、まちの人の頭をガブリ。縁起物に噛まれた人たちは、うれしそうに笑みをこぼしていました。にぎやかな笛や太鼓の音、そして元気な男衆の「ヨイショ」の掛け声が祭りを盛り上げ、まちなかは活気づいていました。

みんなの

